



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月12日

上場会社名 アイコム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6820 URL http://www.icom.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 播磨 正隆  
 問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 植畑 敬一 TEL 06-6793-5301  
 四半期報告書提出予定日 2019年11月12日 配当支払開始予定日 2019年12月3日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無  
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	14,286	13.0	713	51.0	605	1.1	393	△8.3
2019年3月期第2四半期	12,646	17.3	472	—	599	—	429	—

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 185百万円 (△70.9%) 2019年3月期第2四半期 637百万円 (175.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	26.57	—
2019年3月期第2四半期	28.97	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	61,146	55,119	90.1
2019年3月期	61,063	55,304	90.6

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 55,119百万円 2019年3月期 55,304百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2020年3月期	—	25.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	31,500	6.1	3,130	28.1	3,330	23.0	2,500	27.3	168.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	14,850,000株	2019年3月期	14,850,000株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	32,988株	2019年3月期	32,938株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	14,817,041株	2019年3月期2Q	14,817,292株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦の影響で世界貿易の伸びが鈍化したことに伴い、世界経済は減速基調が継続しました。国内については、中国需要の弱さや原油価格の上昇が関連業種にマイナス影響を与え、成長に陰りが見られました。米国は、製造業の景況感が悪化しつつも個人消費は底堅く、成長を続けました。欧州では、個人消費を支えとする内需は堅調さを維持しつつも、ブレグジット問題もあり輸出は低調な推移となりました。アジア地域では、中国の減速が顕著となり、その影響が地域全体に及びました。

また、当第2四半期連結累計期間に適用した米ドル及びユーロの平均為替レートはそれぞれ109.32円及び122.97円であり、前年同期に比べ米ドルは0.8%の円安水準、ユーロは4.3%の円高水準で推移しました。

このような状況のもとで、当企業集団は、デジタル化の流れに対応して付加価値の高い製品の開発を進めるとともに、世界の幅広い顧客獲得を目指して新規市場の開拓及び販売ルートの強化に努め、アマチュア用無線通信機器では固定機の新製品が国内外で大きく売上を伸ばし、国内市場ではIP無線機を始め陸上業務用無線通信機器が増収となり、海外市場では、欧米地域を中心に増収となりました。

<参考>地域別売上高

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		前年同期比 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
国内	4,079	32.3	5,176	36.2	126.9
北米	3,851	30.4	4,033	28.2	104.7
欧州 (EMEA)	1,905	15.1	2,250	15.8	118.1
アジア・オセアニア	2,560	20.2	2,492	17.5	97.3
その他 (含む中南米)	248	2.0	333	2.3	134.0
海外計	8,566	67.7	9,110	63.8	106.3
合計	12,646	100.0	14,286	100.0	113.0

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は142億8千6百万円（前年同期比13.0%増）、売上総利益は59億5千万円（前年同期比7.4%増）となりました。販売費及び一般管理費は人件費や試験研究費等が増加したことにより前年同期に比べ1億7千万円増加し52億3千7百万円となりましたが、売上総利益の伸びがこれを上回ったことから、営業利益は7億1千3百万円（前年同期比51.0%増）となりました。為替差損の計上などにより経常利益は6億5百万円（前年同期比1.1%増）、税負担の増加により親会社株主に帰属する四半期純利益は3億9千3百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本[当社、和歌山アイコム㈱、アイコム情報機器㈱]

国内市場では、アマチュア用無線通信機器の新製品が好評を博し前年同期比で大幅な増収となったほか、陸上業務用無線通信機器もIP無線機やその回線料収入を中心に大きく増収となりました。海外市場では、アマチュア用無線通信機器が新製品効果で増収となり、陸上業務用無線通信機器も欧州向けで増収となったことから、本セグメントの外部顧客に対する売上高は87億2千7百万円（前年同期比17.9%増）となりました。

利益面では、増収により営業利益は4億2千5百万円（前年同期比18.4%増）となりました。

② 北米[Icom America, Inc.、ICOM CANADA HOLDINGS INC.、ICOM DO BRASIL RADIOCOMUNICACAO LTDA. ]

陸上業務用無線通信機器は衛星トランシーバーの投入や中南米市場の復調から増収となり、アマチュア用無線通信機器では新製品が高い評価を受け増収となり、海上用無線通信機器も販促効果で増収となったほか、メキシコを中心に中南米市場での売り上げが回復したことから、本セグメントの外部顧客に対する売上高は43億8千万円（前年同期比6.3%増）となりました。

利益面では、増収並びに販売費及び一般管理費の削減により営業利益は1億1千8百万円（前年同期比57.7%増）となりました。

③ ヨーロッパ[Icom (Europe) GmbH, Icom Spain, S.L.]

対ユーロは前年同期に比べ4.3%の円高水準で推移しましたが、アマチュア用無線通信機器が新製品効果により大幅な増収となり、他の品目も期間後半から増収に転じたことから、本セグメントの外部顧客に対する売上高は7億1千3百万円（前年同期比11.7%増）となりました。

利益面では、増収により営業利益は5千9百万円（前年同期比52.4%増）となりました。

④ アジア・オセアニア[Icom (Australia) Pty.,Ltd.、Asia Icom Inc.、PURECOM CO.,LTD]

主力市場となるオーストラリアにおいて、アマチュア用無線通信機器は新製品効果により大きく増収となったものの、景気の後退により、陸上業務用無線通信機器及び海上用無線通信機器が減収となり、また対豪ドルは前年同期に比べ4.9%の円高水準で推移したことから、本セグメントの外部顧客に対する売上高は4億6千6百万円（前年同期比3.6%減）となりました。

利益面では、販売費及び一般管理費の削減により営業利益は4千7百万円（前年同期比41.5%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

総資産は前連結会計年度比8千3百万円増加し、611億4千6百万円となりました。

主な内訳は、現金及び預金の増加40億4千6百万円、流動資産のその他の増加4億1千3百万円、たな卸資産（合計）の増加3億6千6百万円及び有形固定資産の増加2億4千3百万円等の増加要因と、受取手形及び売掛金の減少50億9百万円等の減少要因によるものであります。

なお、流動資産のその他の増加4億1千3百万円の主な内訳は、未収消費税等の増加2億3千2百万円及び信託受益権の増加1億円等の増加要因によるものであります。

(負債)

負債合計は前連結会計年度比2億6千8百万円増加し、60億2千6百万円となりました。

主な内訳は、買掛金の増加10億8百万円等の増加要因と、未払法人税等の減少3億9千8百万円及び流動負債のその他の減少2億8千3百万円等の減少要因によるものであります。

なお、流動負債のその他の減少2億8千3百万円の主な内訳は、未払消費税等の減少2億2千1百万円等の減少要因によるものであります。

(純資産)

純資産合計は前連結会計年度比1億8千4百万円減少し、551億1千9百万円となりました。

主な内訳は、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加3億9千3百万円及びその他有価証券評価差額金の増加4千3百万円等の増加要因と、剰余金の配当による減少3億7千万円及び為替換算調整勘定の減少2億4千5百万円等の減少要因によるものであります。

以上の結果、自己資本比率は90.6%から90.1%に低下いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、おおむね想定範囲内で推移しており、現時点では2019年5月14日公表の業績予想を据え置いております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,466	29,513
受取手形及び売掛金	9,187	4,178
商品及び製品	4,887	3,981
仕掛品	109	74
原材料及び貯蔵品	4,327	5,636
その他	2,261	2,675
貸倒引当金	△13	△16
流動資産合計	46,227	46,042
固定資産		
有形固定資産	7,597	7,840
無形固定資産	259	301
投資その他の資産		
その他	7,033	7,016
貸倒引当金	△54	△54
投資その他の資産合計	6,979	6,962
固定資産合計	14,836	15,104
資産合計	61,063	61,146
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,095	2,103
未払法人税等	586	188
賞与引当金	788	717
製品保証引当金	49	40
その他	1,591	1,308
流動負債合計	4,111	4,357
固定負債		
退職給付に係る負債	1,122	1,097
その他	524	571
固定負債合計	1,646	1,669
負債合計	5,758	6,026
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,081	7,081
資本剰余金	10,449	10,449
利益剰余金	37,887	37,911
自己株式	△106	△106
株主資本合計	55,312	55,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33	76
為替換算調整勘定	186	△58
退職給付に係る調整累計額	△227	△233
その他の包括利益累計額合計	△7	△215
純資産合計	55,304	55,119
負債純資産合計	61,063	61,146

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	12,646	14,286
売上原価	7,107	8,336
売上総利益	5,539	5,950
販売費及び一般管理費		
貸倒引当金繰入額	△0	3
給料及び手当	1,216	1,166
賞与引当金繰入額	149	225
退職給付費用	39	44
試験研究費	1,823	1,883
その他	1,838	1,912
販売費及び一般管理費	5,066	5,237
営業利益	472	713
営業外収益		
受取利息	49	56
受取配当金	5	11
投資有価証券売却益	5	5
為替差益	217	—
その他	10	8
営業外収益合計	288	81
営業外費用		
売上割引	75	0
為替差損	—	177
その他	86	11
営業外費用合計	162	189
経常利益	599	605
税金等調整前四半期純利益	599	605
法人税等	169	211
四半期純利益	429	393
親会社株主に帰属する四半期純利益	429	393

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	429	393
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△52	43
為替換算調整勘定	264	△245
退職給付に係る調整額	△3	△6
その他の包括利益合計	208	△207
四半期包括利益	637	185
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	637	185



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。